



- 注 ①受枠設置の際は、受枠固定用ボルト(M16)を用いる。既設人孔で斜壁等にボルトがない場合、既設構造物の強度を確認のうえ35.3KN/本以上の引き抜き強度が確保できるようにボルト設置すること。
- ②受枠高さ調整部材はナットによる受枠高さ調整機能を持ちナットの締め付けに対して受枠のひずみを生じさせない構造のもの。またナットは緩み防止機能のついたものを使用する。
- ③調整モルタル部分には高流動性無収縮モルタルで内、外型枠を設置し調整部分に流し込んで施工する。
- ④調整リングは10cm以上厚を用いる。ただし、大型車両が通行しない路線については5cm厚を用いることもできる。